

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

前回に引き続き、6月定例市議会のご報告をします。

1. 代表質問での主な質疑(続き)

○ 外国籍等の児童生徒への支援体制【丸金ゆきこ議員(地域政党チームいちかわ)】

(議 員) 市立学校における外国籍等の児童生徒への具体的な支援体制について、日本語指導教室や日本語指導講師の配置状況は、学校現場のニーズに十分対応できているとの認識か。

(学校教育部長) 市立学校12校に日本語指導教室を設置。未設置校には、要望に応じて、日本語指導講師4名派遣。挨拶などの日常会話や名前を日本語で書くようにできるよう、一定の支援ができていると認識。全校にAI翻訳機の貸与を順次準備し、母語による支援も可能と認識。

○ 新しい自動車図書館車【清水みな子議員(日本共産党)】

(議 員) 新しい自動車図書館車「ミニみどり号」の導入の経緯と活用方法を伺う。

(教育振興部長) 普通自動車を使用した「みどり号」では展開できない狭い場所にもニーズがあることから、軽自動車をベースとした「ミニみどり号」を追加。ステーションを新しく5か所増やす。「ミニみどり号」は、私立を含む幼稚園、保育園への大型絵本配本サービス等にも活用。

2. 一般質問での主な質疑

○ 小学校の安全対策【つかこしたかのり議員(創生市川・自民党)】

(議 員) 小学校の安全対策について、電子錠の設置に加え、今後どのような考えで防犯対策に取り組むのか。

(学校教育部長) 地域や保護者の地域学校協働活動への協力により、多くの大人の目で見守ることが安全安心な環境を作る。その上で、校門の監視カメラや防犯用品の設置、職員研修や児童の不審者対応訓練等を実施。今後も防犯設備の整備と教職員の危機対応能力の向上に努める。

○ デジタル人材の育成【石崎ひでゆき議員(いちかわ市民クラブ)】

(議 員) GIGA スクール構想の次の段階におけるデジタル人材育成について、e スポーツに限らずドローン等の先端技術を活用した実践的な学びをどのように位置付け、生かしていくのか。

(学校教育部長) 児童生徒が e スポーツ選手の話聞くことは、キャリア教育での特徴的な取り組み。今年度中の実施を調整予定。次期学習指導要領の実施に向けた企業や大学等との連携も調査研究。ドローンの先端技術を活用した実践的な学びの機会を今年度中に設けるよう調整予定。

○ 児童生徒や保護者にむけた SNS 利用の啓発【門田直人議員(新しい流れ)】

(議 員) SNS に熱中して勉強不足になったなど心配な保護者も少なくない。児童生徒や保護者に向けた SNS 利用の啓発について伺う。

(学校教育部長) 情報モラルは、道徳・技術・家庭科を中心に発達段階に応じた指導。教委では「インターネットトラブル防止出張授業」を令和7年度に延べ36校で実施。同授業は家庭教育学級や保護者会等でも実施。家庭教育講演会など広く保護者に向けた啓発活動も実施。

○ 市立学校飼育のウサギの里親への譲渡【とくたけ純平議員(無会派)】

(議 員) 他市では里親への譲渡が進み、ウサギの学校飼育数がゼロになった。里親への譲渡の仕組みを作る考えはあるか。譲渡先を探すにあたり、教委としてどのような支援ができるのか。

(学校教育部長) 市立学校で飼育しているウサギは5羽のみであることから、譲渡の仕組みを作る考えはない。学校の意向をよく聞きながら、保護者や地域、終生飼養できる関連施設への譲渡など、個別に対応を考える。

○ 学校運動場のメンテナンス【越川雅史議員(無会派)】

(議 員) 学校運動場は、多角的な用途で多くの市民が利用。継続的なメンテナンス基準の整備が不可欠。基準に基づく必要な措置で、安全・快適に利用できるよう標準化を図るべき。

(教育振興部長) 今後は、良好な学校運動場を維持するため、運動場全体の整備や定期的な補修など、整備方針を検討する必要があると認識。日常の点検は、目安となる値を定めるなど、客観的に判断できるようにしたい。